

龍ヶ崎市議会だより



大宮コミュニティセンター

長戸コミュニティセンター

— 特集 —

市民と議会の意見交換会	...	2
政策提言書の提出	...	4
行政視察	...	5



市民と議会の意見交換会

令和8年6月28日、長戸コミュニティセンター及び大宮コミュニティセンターにおいて、「令和8年度市民と議会の意見交換会」を開催しました。

当日は、「公共交通について」と「牛久沼の活用について」をテーマに、議会からの報告を行った後、参加者の皆様と意見交換を行い、多くの貴重なご意見をいただきました。

いただいたご意見は全議員で共有するとともに、今後の議会活動に生かしてまいります。また、市民の皆様の声を直接伺うことができる機会の充実に努めてまいります。

報告1 公共交通について

市内の公共交通として、JR常磐線、関東鉄道竜ヶ崎線、関東鉄道の路線バス、コミュニティバス、AIオンデマンド交通「龍ヶ崎のるーと」、乗合タクシー「龍タク」が運行しています。

少子高齢化や人口減少に伴う利用者数の減少により、公共交通の維持は大きな課題となっており、限られた財源の中で市民の皆さんの移動手段をどう守るのか、誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通の構築が求められています。

市議会においても様々な観点から質問や提案が出され、議論を重ねています。



報告2 牛久沼の活用について



牛久沼は、「日本の夕陽百選」に選ばれた景観をはじめ、水辺公園や遊歩道など豊かな自然に恵まれた本市の貴重な地域資源です。

道の駅整備計画を中止とした後、市では周辺自治体などと「牛久沼活用推進協議会」を設立し、広域連携による利活用を進めています。また、市民会議からは景観を生かした東岸市有地の活用などが提言され、アンケートでも夕陽を楽しめる公園や交流広場の整備を望む声が多く寄せられました。

市議会では、市民の皆さまの声を踏まえ、牛久沼の今後の在り方や活用方法などについて議論を進めてまいります。

報告3 政策提言書の提出について

市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」後期基本計画策定に向けた政策提言書を取りまとめ、萩原市長に提出しました。

詳しい内容は、本誌4ページに掲載しています。

6月27日に開催を予定していた『市民と議会の意見交換会（北文間コミュニティセンター、久保台コミュニティセンター、駒馬台コミュニティセンター）』については、台風の影響により中止させていただきました。当日、会場にご来場を予定していた市民の皆様に改めてお詫びいたします。



ご参加いただき
ありがとうございました

コミュニティセンター	参加者数
長戸	26名
大宮	27名



▲配付した資料や開催結果については、市議会ホームページに掲載しています。

長戸コミュニティセンター

参加者の意見・要望・感想（一部抜粋）

市民 AI オンデマンド交通「龍ヶ崎のるーと」の運行区域を西部地区まで拡大できないか。

議員 「龍ヶ崎のるーと」の市内全域への拡大は重要課題であり、市民ニーズや民間公共交通への影響を踏まえながら、検討していきます。

市民 ごみの広域化について、場所を龍ヶ崎ありきで進めないでほしい。

市民 初めて参加したが、いい勉強になった。

市民 湯ったり館の廃止は地元との協定内容に反するのではないかと。また、協定に基づく地域整備をどのように進める考えか。

議員 湯ったり館の解体については議会から慎重な対応を求める意見が多く、現時点では解体を見合わせています。広域ごみ処理施設の整備方針も踏まえながら、今後の活用について検討していきます。

市民 道の駅整備の中止が発表されてから時間が経っている。牛久沼を活用するなら方向性を早く示してほしい。

議員 早期に方向性を示す必要があると認識しています。事業費などを見極めた上で、議会としても適切に判断し、方向性を決定していきます。



大宮コミュニティセンター

参加者の意見・要望・感想（一部抜粋）

市民 関東鉄道竜ヶ崎線に対して、市は補助をしないのか。

議員 現在、市内公共交通の運行補償に相当な金額を要していますので、市民の移動手段を確保するため、どこまで赤字補填をすればいいか検討が必要です。

市民 「市民と議会の意見交換会」は、とても良い企画だったと思う。今後も続けていただけたら良いと思う。

市民 もっと地域に根ざした質問や提案の場にしてほしい。

市民 現在の大宮コミュニティセンターは借地かつ行き止まりの土地で使い勝手が悪いので、旧大宮小学校の跡地に、新しい大宮地区のコミュニティセンターを建ててほしい。

市民 牛久沼の夕陽のすばらしさについてもっとPRしてほしい。

議員 牛久沼活用推進協議会や牛久沼活用市民会議、市民アンケートから、牛久沼の夕陽を生かした取組の希望があったと認識しています。一方で、牛久沼東岸市有地に駐車場やトイレ等を整備するためには非常にお金がかかるため、議会内では見直しや縮小を求める声が多い状況です。



政策提言書の提出

龍ヶ崎市議会では、議会に提案された議案を審議するだけでなく、市民の皆さまの声を聴き、市政に反映していく「政策サイクルの実現」に向けた取組を進めています。

その一環として、市政の重要なテーマや課題について、議員同士が自由に意見を交わし、議論を深めることで、議員間の共通認識の醸成や合意形成を図る場として、令和8年3月から4回にわたり「政策討論会」を開催しました。

政策討論会では、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030」後期基本計画の策定に向けた政策提言の内容について議論を重ね、その成果を取りまとめた政策提言書を、令和8年5月22日に萩原市長へ提出しました。



提言の背景・目的

現在、後期基本計画の策定中である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」では、人口減少と少子高齢化の進行を重要な課題として捉え、若者世代の定住促進や子育て世代の転出抑制に向けた施策を展開することとしています。

人口減少の抑制に向けては、子育て世代の転出抑制のみならず転入促進を図ることが肝要であり、市民が安心して子どもを育て、市内で働き、移動に困らず住み続けられる環境を整えることが必要です。

そのためには、子育て支援や医療・福祉の充実、住環境整備、雇用の場の確保、公共交通の再構築など、生活基盤全体を支える施策を計画的に進めることが求められます。また、地域資源を活用した戦略的な土地利用や交流機能の強化を通じて、にぎわいを生み出し、定住人口と交流人口の双方を増やしていくことも重要です。

以上の観点から、下記の提言項目を後期基本計画に盛り込み、具体的かつ重点的に推進することを提言しました。

「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」後期基本計画の策定に向けた提言項目

- 1 身近な地域における子どもの居場所や子育て支援拠点の整備・充実を図ること
- 2 誰もが安心して生活ができる地域医療・高齢者福祉体制の充実を図ること
- 3 若者の移住・定住を見据えた住環境整備と空き家等の活用を推進すること
- 4 住宅、産業、交流機能を視野に入れた戦略的な土地利用を推進すること
- 5 公共交通に関する市民ニーズを適切に反映し、市内全域で平等に利用できる交通体系の構築を推進すること

龍ヶ崎第二高校との連携活動

龍ヶ崎第二高校の2学年では、今年度、探究的な学習の一環として、地域の課題に特化した「地域探究グループ」を編成し活動に取り組むこととしています。

7月13日、この活動の本格的な始動にあたり「スタートアップセレモニー」が開催され、その中で、生徒の皆さんから探究テーマの発表等が行われました。

今後、年度を通じて、フィールドワークやデータ分析、政策立案等を行い、年度末には成果発表の場として生徒から政策提案がされることとなっています。

本市議会では、生徒の皆さんがより深い視点で地域の未来を考えることができるよう、市執行部とともに連携し協力してまいります。



総務教育委員会行政視察（7月13日～14日）

【視察内容】

▶ 中心市街地活性化の取組について（上田市）

「まちづくり上田株式会社」の設置を中心に、空き店舗対策やにぎわい創出など、持続可能なまちづくりの在り方について学びました。

▶ 不登校児童・生徒の教育支援の取組について（長野市）

教育支援センター「SaSaLAND（ササランド）」を中心とした児童・生徒一人ひとりの状況に寄り添い、多様な学びの場を確保する支援体制について理解を深めました。



健康福祉委員会行政視察（7月29日～30日）



【視察内容】

▶ 聴こえくつきり事業について（山形市）

難聴の早期発見から補聴器購入、装着後のフォローまでの一貫した支援体制について学びました。

▶ シェルターインクルーシブプレイス「コパル」(山形市)

障がいの有無や国籍、家庭環境の違いに関わらず、すべての子どもたちに開かれた遊び場を目的として設計された施設を見学しました。

▶ 健康ポイント事業 SUKSK（スクスク）について（山形市）

運動や健診でポイントを付与し、市民の自発的な健康づくりを促す仕組みについて学びました。

都市経済委員会行政視察（7月16日～17日）

【視察内容】

▶ ふるさと納税について（坂井市）

市民から寄附金の使い道のアイデアを募り、市民を含む検討委員会で事業の選定を行う「寄附市民参画制度」の取組を通じて、今後のふるさと納税について、どこの市町村でも衰退が懸念されていることを改めて認識しました。

▶ 公共交通について（小松市）

自動運転バスやライドシェアなど、地域の実情に応じた移動手段の確保や利便性向上に向けた施策を通じて、誰もが安心して移動できる交通体系について学びました。



議会運営委員会行政視察（7月9日～10日）



【視察内容】

▶ 民間主導による地域創生モデルの取組（三重県多気町）

複合商業施設「VISION（ヴィゾン）」を視察。食と文化をテーマに民間活力を最大限に活用した複合施設による、持続可能な地域活性化と地方創生の手法を学びました。

▶ 議会改革の取組（四日市市）

決算審査と予算審査を連動させる政策サイクルの仕組みや政策研究会を通じた政策提言の取組、高校生との意見交換の場の創出等について理解を深めました。

本会議

Digest

ダイジェスト

審議された主な議案の内容と、本会議で行われた議案に対する質疑や討論の一部について掲載しています。

議案を所管する委員会においても、議案等の審査を行っており、その審査内容の一部を次ページに掲載しています。

▼第2回定例会（6月）

◆議案第2号

龍ヶ崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

家庭的保育事業等を利用する乳幼児に対して利用開始時の健康診断、定期の健康診断又は臨時の健康診断が必要であるが、母子保健法に規定する健康診断の内容が、当該健康診断に相当すると認められ、かつ、家庭的保育事業者等がその結果を把握するときは、改めての健康診断を行わないことができるようにするため、改正を行うものです。

◆議案第3号

龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税にかかる基礎課税額の賦課限度額及び被保険者均等割額の軽減対象となる世帯の所得の基準額を引き上げるため所要の改正をするものです。

◎質疑

伊藤議員 賦課限度額を超える世帯数と、年間の国民健康保険税額への影響について伺います。

健康スポーツ部長 令和7年度

末のデータを元に試算をした結果、賦課限度額を超える世帯は、77世帯の見込みです。

また、年間の国民健康保険税額への影響は、賦課限度額の引き上げ額である1万円の範囲で影響する見込みです。

◎反対討論

伊藤議員 国民健康保険の加入者の多くは低所得者の方です。物価高騰や収入が伸びない中で、国民健康保険税の限度額を上げることは、加入者の暮らしを脅かすことです。

自治体の役割である福祉の向上を果たせないため、反対します。



◆議案第8号

市有財産の取得について（令和9・13年度北竜台学園保育ルーム賃貸借）

北竜台学園保育ルームの賃貸借契約期間満了後に所有権が市に譲渡され、かつ、予定価格が、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の第3条に規定する予定価格「2千万円」以上である

ことから議決を求めるものです。仮契約額は、1億7424万円です。



◆議案第10号

令和8年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第1号）

既定の歳入歳出予算の総額からそれぞれ1億5803万円を減額し、総額を308億6297万円とするものです。

〈主な歳出〉

- ・不妊治療費助成事業の拡充
- ・無痛分娩費用助成事業の創設
- ・小中学校GIGAスクール端末更新費用

◆議案第11号

令和8年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入及び支出の予定額について、公共下水道事業収益を2065万5千円減の24億4853万7千円とし、公共下水道事業費用を901万8千円増の22億5944万7千円とするものです。

資本的収入及び支出の予定額

について、公共下水道事業資本的収入を602万3千円増の10億633万2千円とし、公共下水道事業資本的支出を365万円減の16億4480万2千円とするものです。

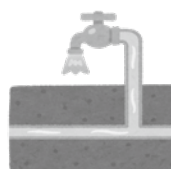
〈主な補正〉

- ・下水道管路特別重点対策事業が企業債対象となったことによる雨水処理負担金の減額
- ・ウォーターPPP導入検討事業における茨城県との広域連携検討調査委託費の増額
- ・社会資本整備総合交付金の減額決定に伴う財源調整のための資本費平準化債発行額の増加

◆報告第1号

専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市税条例の一部を改正する条例について）

地方税法等の改正に伴う軽自動車税環境性能割の廃止や、地域決定型地方税制特例措置「わがまち特例」の拡充や見直しなど、令和8年4月からの施行に必要な部分について、所要の改正を行ったものです。



常任委員会

賛成

議論

議論

可決

第2回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務教育、健康福祉、都市経済）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について掲載しています。

▼総務教育委員会

◆議案第1号

龍ヶ崎市税条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**賛成多数**で了承しました。

札野委員 条例の改正により、

住民税や固定資産税が免税や減税になる分には市民にとつてありがたい話だと思いますが、市の税収入に影響はあるのでしょうか。

税務課長 軽自動車税の環境性割の廃止に伴い税収が減った分については、国から全額補填されることから大きな影響はないものと考えています。また、固定資産税の免税点の引き上げ等に伴う減収分につきましては一部交付税措置がされることから、大きな影響はないものと考えています。

▼健康福祉委員会

◆議案第3号

龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

後藤敦志委員 国民健康保険税が引き上げられる世帯と引き下げられる世帯があると思います

が、それぞれの世帯数と増減額、併せて国民健康保険税全体への影響を教えてください。

保険年金課長 令和8年度については本算定前であることから令和7年度末のデータを元に試算したのになります。2割軽減から5割軽減になる世帯数は約30世帯であり、保険税額合計で約70万円の減額となります。また、新たに2割軽減になる世帯数は約15世帯であり、保険税額全体の約20万円の減額となり、合計で減額は約90万円となる見込みです。

一方、限度額引上げにより影響を受ける世帯数は77世帯であり、保険税額合計で77万円の増額となります。減額分を差し引くと、国民健康保険税全体で約13万円の減額となる見込みです。

◆議案第10号

令和8年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第1号）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

山宮委員 里帰り出産などもあ

りますが、無痛分娩費用の助成事業については、どの病院で出産しても適用を受けられるのでしょうか。

こども家庭センター課長 現在の想定では、日本国内のどの病院でも利用できるようにしたいと考えております。



▼都市経済委員会

◆議案第11号

令和8年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算（第1号）について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

岡部委員 ウォーターPPP導入検討の可能性調査に関して追加計上しているとのことですが、導入検討事業の内容について詳しく教えてください。

下水道課長 ウォーターPPPとは、上水道・下水道などの水インフラの分野について、自治体と民間事業者が長期契約を結び、管路やポンプ場などの維持

管理、更新業務を包括的・一体的に行う官民連携の仕組みです。民間の技術やノウハウを活用し、施設の老朽化対策や事業の効率化を図ることを目的に、国が推進しています。実施方法には、自治体が単独で行う単独型と、県や複数の自治体が連携して行う広域型があります。

令和9年度以降、ウォーターPPPの導入が決定されていない場合、污水管等の改築・改修工事や調査に係る国の交付金を受けられなくなると示されていることから、導入を検討するものです。

加藤委員 公共下水道事業について、今後、自治体が単独で進めるのではなく、広域的な組織編成へ移行していく流れの一環なのか伺います。

下水道課長 下水道管理の方針として、国土交通省が令和8年1月に公表した「上下水道施策の基本的な在り方検討会」の第2次取りまとめにおいて、小規模なウォーターPPP案件が乱立すると非効率となるため、広域連携を前提とした質の高い案件形成が重要であると整理されており、本市でも広域化での検討を進めているところです。

果

(会期：6月3日～6月17日(15日間))

議案等番号		件 名	議決結果
議	第 1 号	龍ヶ崎市税条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 2 号	龍ヶ崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 3 号	龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 4 号	龍ヶ崎市印鑑条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 5 号	工事請負契約に関する議決事件の変更について（令和 6 ～ 7 年度（仮称）長山中学校区義務教育学校整備工事（建築工事））	全員賛成で可決
	第 6 号	工事請負契約に関する議決事件の変更について（令和 6 ～ 7 年度（仮称）長山中学校区義務教育学校整備工事（電気設備工事））	全員賛成で可決
	第 7 号	工事請負契約に関する議決事件の変更について（令和 6 ～ 7 年度（仮称）長山中学校区義務教育学校整備工事（機械設備工事））	全員賛成で可決
	第 8 号	市有財産の取得について（令和 9 ～ 13 年度北竜台学園保育ルーム賃貸借）	全員賛成で可決
	第 9 号	和解に関することについて 〔茨城県身近なみどり整備推進事業費補助金の一部返還により生じた損害〕	全員賛成で可決
	第 10 号	令和 8 年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第 1 号）	全員賛成で可決
案	第 11 号	令和 8 年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	全員賛成で可決
	第 12 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 13 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 14 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 15 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の選任について	全員賛成で同意
	第 16 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 17 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 18 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 19 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 20 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 21 号	龍ヶ崎市農業委員会委員の任命について	全員賛成で同意

※賛否が分かれた議案等（ 部分）に対する議員の態度については、[次ページ](#)に掲載しています

議案等番号		件 名	議決結果
報 告	第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市税条例の一部を改正する条例について）	全員賛成で承認
	第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市都市計画税条例の一部を改正する条例について）	全員賛成で承認
	第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 7 年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第 13 号））	全員賛成で承認
	第 4 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 7 年龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算（第 8 号））	全員賛成で承認
	第 5 号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて） 〔つくばの里向陽台公園の駐車場において、樹木の倒木により普通乗用車を破損させた事故〕	全員賛成で承認
	第 6 号	専決処分の報告について（和解に関することについて） 〔龍ヶ崎市商工会の駐車場において、公用車が普通乗用車に接触した事故〕	－
	第 7 号	令和 7 年度龍ヶ崎市一般会計継続費繰越計算書について	－
	第 8 号	令和 7 年度龍ヶ崎市一般会計繰越明許費繰越計算書について	－
	第 9 号	令和 7 年度龍ヶ崎市一般会計事故繰越し繰越計算書について	－
	第 10 号	令和 7 年度龍ヶ崎市下水道事業会計継続費繰越計算書について	－
	第 11 号	令和 7 年度龍ヶ崎市下水道事業会計予算繰越計算書について	－
令和 8 年 請願第 1 号		ひきこもり基本法の制定を求めるための意見書採択を求める請願	全員賛成で採択

※報告第 6 号から報告第 11 号は、地方自治法の規定による報告であるため採決は行いません

※請願の内容は、市議会ホームページに掲載しています

議案等に対する議員の賛否



※採決の結果、賛否が分かれた議案等を掲載しています

※議長（後藤（敦）議員）は採決に加わりません

※金剛寺議員は体調不良により欠席しています

○ = 賛成 × = 反対 欠 = 欠席

議案 番号	議決 結果	賛否数		議員名及び賛否の別																					
		賛 成	反 対	金 剛 寺	伊 藤	石 引	櫻 井	札 野	大 野 （み）	久 米 原	山 宮	石 嶋	山 村	加 藤	岡 部	山 崎	後 藤 （光）	椎 塚	油 原	大 竹	後 藤 （敦）	杉 野	寺 田	鴻 巣	大 野 （誠）
議 1	可決	19	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議 3	可決	19	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○

龍ヶ崎市議会公式 SNS



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram



Youtube

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。



◀ Youtube はこちらからご覧いただけます。



親なき後について

久米原 孝子 議員



議員 日本財団が昨年10月に障がいのある方のご家族を対象に行った調査で、親なき後に不安を感じているご家族が85・5%の結果でした。ご家族が将来に対して強い不安を抱え相談支援の充実が強く求められていることが分かりました。親なき後の相談体制は、どのようになっていますか。

福祉部長 障がい福祉課では、障がいのある方やご家族などからの親なき後に関する相談を受けています。相談者が不安に思っていることや困っていることを丁寧に伺いながら、一緒に課題を整理し、その上で、現在できることや将来に向けて準備することなどについて提案もさせていただいております。

議員 今からできる必要な準備や各種支援事業、障がい福祉サービスなどを分かりやすくするために

- ◆掲載以外の質問項目
- ◆高齢者の安心できる取組について
- ◆FAXレスについて
- ◆犯罪被害者等支援について

感震ブレーカーの助成制度について

山宮 留美子 議員



議員 感震ブレーカーの普及について、国では緊急対策推進基本計画の改定案をまとめました。その内容は、大地震が発生した際に、最も懸念されるのが建物倒壊と、その後に発生する通電火災であるとしています。

危機管理監 感震ブレーカーについては、地震火災対策の有効な手段として、今まで以上に市民に周知を勧めながら、認知度を高めつつ、助成制度についても検討をすすめています。

議員 市民の命と財産を守るのも市の大切な役割です。早急な対応を要望致します。

国でも推奨し、茨城県でも助成制度が始まりま

不登校・ひきこもりについて

議員 不登校の児童生徒が年々増加している現状の中で、義務教育が終わった後に、引きこもり状況に繋がる例も少なくありません。市の対応についてはどのように行われているのかお聞きいた

福祉部長 把握するのが難しい状況ではありますが、相談内容に応じて必要機関へと繋げ、相談者に寄り添った支援に努めてまいります。

札野 章俊 議員

市内公共交通の再編成について



議員 竜ヶ崎線が廃線を含め今後の方針を決定することですが、今後の公共交通運営について伺います。

市長 都市の規模、既存公共交通との共存、財政負担など、多面的、多角的な検討を要する大規模な都市インフラ事業になると認識しており、本市の状況を鑑みますと、ライトレール導入の検討を行う段階にないと考えています。

都市整備部長 「廃止ありき」や「存続ありき」といった前提は置かず、情報共有や協議会を行っていき、想定される運営の一つとして、「竜ヶ崎線を維持する」という展開、また別の展開として「竜ヶ崎線を廃止する」という展開があると思います。

廃止となった場合の代替手段として、民間路線バスやコミュニティバスによる代替のほか、専用道の整備やバスなどが優先的に通行できるBRTとしての運行などが候補の一つとして挙げられます。

議員 バスの運転手不足が問題です。永続的に市民の足になり得るのか不安です。

ライトレール構想について

大野 みどり 議員

おはようSUN訪問収集事業について



議員 この事業は、平成15年から実施され、家庭ごみをごみ集積所まで持っていくことが困難な高齢者や障がい者を対象に、職員が玄関先まで個別に収集に伺い、あわせて安否確認を行うものです。現在の利用状況は89世帯。足腰が衰え、ごみ出しに困難を抱えている方が多くなっています。

私が2年前にも質問したのは、要介護認定に至らない要支援者の方であつても対象者の要件に入れて、困っている独り暮らしの高齢者の方々を救済してほしいということです。

「おはようSUN訪問収集」の対象者を、要支援や要支援2まで拡大することについて、当市の見解を伺います。

都市整備部長 議員がおっしゃるように、要支援や要支援2などの真に支援を必要とする方を基本制度の中にすくい上げるための要件緩和について、具体的な制度設計を進めてまいりたいと考えております。

議員 前向きなご答弁ありがとうございます。

市のホームページの内容ですが、つくば市では申請窓口、申請できる方、郵送でも申請できること等、丁寧に掲載されています。当市においても他市町村を研究しホームページの更新をよろしくお願いいたします。



掲載以外の質問項目

◆eスポーツの取組について

◆低出生体重児（リトルベビー）等の支援の取組について

油原 信義 議員

龍ヶ崎市街地の活性化策について



議員 中心市街地は商業型拠点施設の整備が必要と考えるのがいかがか。

市長 人口減少の中で、中心市街地に限ったことではありませんが、新たな公共施設を整備することは慎重にならざるを得ないと考えています。

中心市街地では、民間による新たな動きが出てきていますので、その状況を見守りながら、行政として必要なアクションを起こしてまいります。

議員 図書館の機能は大きく変わって続いています。誰もが気軽に足を踏み入れ、様々な人と交流する公共空間を創り出し、地域の情報の拠点だけでなく、地域の人が交わるまちづくりの拠点機能を持っています。

当市の図書館の機能拡充のタイミングで、まちなかへの複合交流拠点施設として整備を検討していきたい。

空き店舗から広がる新たな

まちづくり

山村 尚 議員



議員 民間発意で空き店舗を活用したアートイベント「龍ヶ崎ストリートギャラリー+」には約500人が来場し、その4割が市外から訪れ、まちなかに新たなにぎわいが生まれました。こうした人の流れや新たな交流は、本市の新たなまちづくりの可能性を示した取組と考えます。

こうした活動を広げ、将来の地域活力につながるため、市はどのように取り組んでいきますか。

総合政策部長 若者が地域と関わる機会の創出や、市民主体の活動への支援は重要と考えています。関係者との連携を図りながら、地域に関わりやすい環境づくりを進め、持続的な地域活性化につなげてまいります。

このような市民主体の活動を、市はどのように評価していますか。

市長 アートを通じて人の流れや交流を生み出し、まちなかの活性化につながる好事例と認識しています。

市民や民間事業者の主体的な活動は、本市の魅力向上や新たなまちづくりにつながるものと考えております。

議員 人口減少が進む中でも、地域の未来を支えるためには、若者や市民

「コンテンツ地方創生によるまちおこしについて

大竹 昇 議員



議員 議員活動の中で皆様から寄せられる声は、人口減少による財政や治安への不安、雇用創出やインフレ対策です。円安を背景にインバウンド観光が勢いを増している中、内閣府が「コンテンツを活用した地方創生拠点都市」の取組を進めています。その趣旨についてお聞かせください。

総合政策部長 アニメや漫画等のコンテンツを起点とし、地域の食、文化、伝統、景観などの地域資源と掛け合わせ地域一体となり経済波及効果を生み出す官民連携の取組です。**議員** 国の流れは、1970年代のオイルショック、バブル崩壊、2005年の戦後初の人口減少を経て、2010年にはデフレ脱却と東京一極集中の是正を目指したアベノミクスなどが始まりました。コンテンツ地方創生拠点都市

における三つの類型についてお聞かせください。**総合政策部長** コンテンツ観光振興型は、食や文化等の地域資源とコンテンツの魅力による新たな価値を創造し、観光等を通してインバウンド誘客や消費拡大の地域の価値の向上を生み出す取組。コンテンツ産業振興型は、地域発のコンテンツ創造やクリエイター育成、関連企業の集積・誘致等です。複合型は、観光振興型と産業振興型の双方を併せ持つ複合的な取組です。

議員 コンテンツ地方創生拠点を活用したまちおこしについて市長の考えをお聞かせください。**市長** 龍ヶ崎フィルムコミッションの活動によるテレビドラマ「366日」にとどまらず、今後ともコンテンツと地域資源の融合による地域活性化を推進していきます。

自転車の交通ルールについて

後藤 光秀 議員



議員 4月から自転車の交通反則通告制度（青切符）が施行されました。私はこれまで、自転車利用者の安全確保の観点から、自転車専用通行帯やブルーライン等の整備を提案してまいりました。交通ルールが強化された以上、自転車利用者にルール遵守を求めるだけでなく、安全に通行できる環境整備も進めるべきと考えますが、改めて

本市の見解を伺います。**都市整備部長** 路面表示は安全意識を高める有効な手段と認識しており、県と情報共有を行っております。県と情報共有を行っており、今後の道路整備等に合わせ、自転車専用通行帯や矢羽根表示等の導入を検討してまいります。



学生服取扱店との連携について

議員 少子化や学校統合が進む中、市内の学生服取扱事業者から過去の情報共有についてご意見を伺いました。学校統合の方針に加え、翌年度の入学見込み数などについて、情報共有のあり方を協議してまいります。

教育部長 これまでは学生服取扱店との情報共有が十分ではありませんでした。今後は学校統合の方針に加え、翌年度の入学見込み数などについて、情報共有のあり方を協議してまいります。

岡部 賢士 議員



人口減少対策

「土地利用構想の見直し」

議員 人口対策を考える上で、ＪＲ龍ヶ崎駅周辺の可能性が一番ポイントになる。駅周辺の若柴台の下地区を含め、駅から市役所方面へ延びる県道停車場線の周辺地区を市街化編入等により、開発可能にすべきと考えるが、市長の見解を。

市長 若柴台の下地区においては開発の実現可能性を踏まえた土地利用の検討を進めたい。県道停車場

「人口対策を意識した公共交通の再編」

議員 特にＪＲ駅へのアクセス、利便性向上を考えていくべきと考えるが、市の見解を。

都市整備部長

ＪＲ駅を軸とした移動需要は民間事業者の主なターゲットとなつていことから、民間との競争が発生しかねないという懸念もある。

議員 市の今後のことを

◆移住・定住促進の取組
◆防犯カメラの増設を！
◆環境美化へ向けた取組
◆公共施設里親団体やボランティア活動に対する謝礼のための予算付けを

「牛久沼東岸」市有地の整備について

伊藤 悦子 議員



議員 牛久沼の整備は「今のままの自然を生かし、お金を使わない活用を求め」などの声があります。費用と整備方針を伺います。

総合政策部長 市民の意向に沿い安全性の確保とコスト縮減を前提に、夕陽を生かす交流の場として、駐車場・園路・多目的広場等最小限の整備・事業費設計費で１期工事は２億３０００万円です。

議員 全体費用は市民の皆さんも気にしています。利用想定者数も現時点では回答されてません。お金の使い方をもちと市民生活に密着したものにすべきです。

「高市首相の戦争をできる国への発言」の市長の認識について

議員 高市首相は施政方針演説で憲法を変える国会発議が早期に実現できることを期待すると述べました。核兵器廃絶平和都市宣言都市の市長として高市首相の憲法を変え、戦争できる国にしようとしていることへの認識を伺います。

市長 現在、ウクライナやイランなど国際情勢に強い

医療機関の新規開院等を促す補助制度の構築を！

加藤 勉 議員



議員 10年前と比べると、開院から25年を迎えて市内医療機関（歯科医院を除く）の数に変化はあるのでしょうか。

健康スポーツ部長 10年前は41か所の医療機関がありました。現在は37か所の医療機関となっています。

議員 小児科専門医院を始め、市内での医療機関の新規開院や事業承継のケース等も想定した補助制度をあらかじめ設けておくことで、医療機関の受け入れ環境を整えておくべきではないでしょうか。

市長 本市医療体制は、一般診療所と地域医療支援病院である龍ヶ崎済生会病院との連携により確保・充実されていますが、龍ヶ崎済生会病院については、医療人材の確保や物価高騰への対応、周産期医療や小児医療が運営面での負担が大きいこ

と、開院から25年を迎えて医療機器や施設の老朽化への対応等も控えている等、厳しい経営環境にあるようです。

現在、龍ヶ崎済生会病院に対しては病院運営費補助金交付要綱による財政支援を行っており、一般診療所については、新規開院に向けた補助制度を検討するための先進自治体の調査・研究を行ってきたところです。

今後は、これまでの調査結果を参考に、市医師会の意見を拝聴しながら、新規開院に止まらず、既存診療所の事業継承を含め、一般診療所の確保に向けた支援制度を構築し、将来にわたり最適な医療を受けられる地域医療体制の維持に努めてまいります。



「アートの力で空き店舗とまちなかを再生へ」

石引 礼穂 議員



議員 市民発の「龍ヶ崎ストリートギャラリー」は延べ400人以上を魅了した。こうした市民の自発的なエネルギーやアートの力こそ、持続的なにぎわいをつくる鍵であり、子どもの感性を育む財産だ。

市長 今ある地域資源にアートを掛け合わせ、地域への愛着や誇りを醸成するまちなか再生のヒントとして、今後も対話を重ねる。

空き店舗活用が進捗と、特色あるアートのまちなかづくりへの決意は。

総合政策部長 令和9年4月開始の次期対策計画



「じぶん龍」で描く幸せな暮らし

議員 市民が自分らしく主体的に動く「じぶん龍 ACTION」に大いに共感する。一過性の広告で終わらせず、ストーリーギャラリーのように実際に活動する市民と連携し、独自の都市戦略として推進すべきだ。今後の展望は。

市長 「何もない」という言葉の裏には、自分流の暮らしを自由に描ける「余白」がある。「幸せをつかめるまちなかづくり」を掲げ、この街で生きる皆さんの幸福度を高めたい。全国で唯一、市名に龍を冠する街として、その力強さを生かし力強く推進する。

一人暮らし高齢者（3521人）支援体制が急務!!

杉野 五郎 議員



議員 今回の社会福祉法改正案で、福祉サービス援助事業はどう変わりますか。

福祉部長 判断能力の十分な方に加え、判断能力があっても頼れる身寄りのない高齢者等が対象となります。又、日常生活自立支援事業に加え、入院等の手続支援、死後事務の支援もサービスの対象となります。

議員 これまで課題であった身寄りなき高齢者への対応が、法律で義務化されるのですね。特に死後事務の支援は大変かと思えます。これらの事業は社会福祉協議会が担うとされていますが、現体制で大丈夫でしょうか。

福祉部長 現行に比べて、対象者及び事業内容が大きく拡張されます。人材と財源の確保等の課題があり、改正案の詳細

について情報収集を進めて参ります。

議員 市としても、対応可能な体制づくりを急がれるのではないですか。市長はどう認識されていますか。

市長 一人暮らし高齢者が、年々増加傾向にあり、高齢者を取り巻く状況は益々厳しくなっていることを認識しております。一人暮らし高齢者の問題については一朝一夕に解決できる問題ではなく、その解決にはあらゆる関係機関との連携が不可欠です。

1億3000万円。そのお金 使途不明

大野 誠一郎 議員



議員 スポーツクライミングのユース大会の見積書は収入1185万円、支出が2390万円、最初から赤字、こうした見積りはあるのですか。

健康スポーツ部長 業者のほうから提出された適正な見積りということですね。金額が黒く塗られています。それ自体が甘い、過大な見積りです。領収書は頂いていますか。

健康スポーツ部長 大会の運営につきましては、市の委託費に加え受注者が募集する協賛金や参加者負担金を財源として構成しており最終的な収支ギャップ（赤字）については受注者が負担する取り決めとなっています。

議員 赤字は受注者のデロイト社が負担したということですね。

健康スポーツ部長 領収書については、徴収していません。

議員 見積り、決算の黒塗り。領収書もない。市民に対して説明ができない。1億3000万円の使途不明金です。

掲載以外の質問項目

- ◆公共交通再編について
- ◆牛久沼東岸市有地の整備方針について

本市における遊休農地対策に

櫻井 速人 議員

ついて



議員 龍ヶ崎市ののどかな景観の一つでもある水田や農地については、高齢に伴い耕作が出来ないなどの理由で遊休農地を抱えている現状にあります。自身も今期、高齢の方からそういった理由で水耕を請け負い、一から田植えに挑戦し、新規就農ハードルが高いことを実感いたしました。

市内における遊休農地は地理的要因、物理的要因、人的要因。この3つの要因から整備が行き届かず、耕作が困難な状況にあるということですが、この分析を踏まえて現在どのような対策がとられているでしょうか。

市民経済部長 本市では、農業経営基盤強化促進法に基づき地域計画の策定を推進しているところです。これは10年後の農地利用の設計図を地域全体で作り上げるもので

◆掲載以外の質問項目
◆小中学校統合による空き校舎への対応について



たつのこ ワクワクワーク

8月20日～30日に開催される子ども向け職業体験イベントである「たつのこワクワクワーク」に議会のお仕事体験が新たに加まりました。

参加したお子さんたちに議場の見学や議会でのどのようなやりとりを行っているか体験してもらい、議員の仕事や人との関わりを通して、地域への理解や愛着を深めることにつながってもらえたらと考えています。

開催日当日の様子については、次回の議会だよりでご報告します。



龍ヶ崎市議会だより（まいりゅうレポート）の「表紙写真」を募集しています

▶募集内容「龍ヶ崎市議会だより」の表紙写真

- ・応募者本人が龍ヶ崎市内において1年以内に撮影したもの
- ・未発表のもの
- ・デジタルデータで提供できるもの
- ・人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けているもの
- ・個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けているもの



▲募集の詳細については
こちらからご覧ください

▶応募資格 市内在住・在学・在勤の方

▶応募方法 / 応募先

①応募者（撮影者）の氏名、住所、連絡先、②撮影年月日、③撮影場所、④写真のタイトル・一言コメントをご記入のうえ、メール (gikai@city.ryugasaki.lg.jp) によりご応募ください。

▶応募期間 年間を通じて随時受付します

▼農業委員会委員 ※議案番号順

再任



あだち 富士夫 氏
足立 富士夫 氏

新任



たきざわ けんいち 氏
滝澤 健一 氏

再任



いちむら かずよし 氏
市田 和義 氏

新任



いのの りこ 氏
飯岡 典子 氏

新任



なかやま つとむ 氏
中山 務 氏

新任



よこた さち 氏
横田 祥 氏

再任



くろす よういち 氏
黒須 洋一 氏

再任



すごう けんじ 氏
菅生 健二 氏

再任



みやもと さちお 氏
宮本 幸男 氏

新任



いしな ただゆき 氏
椎名 忠行 氏

議員表彰

▼議員15年以上表彰

(全国市議会議長会)
(茨城県市議会議長会)

大竹 昇 議員
椎塚 俊裕 議員
後藤 光秀 議員

編集後記

シェイクを飲みながら雨宿りをする女子高生。公衆電話からポケベルを打つ放課後といえ、ドムドムのバッテリー。

三十年以上も昔と今では面影を探すことさえ難しく、アイエフ、あかちようちゃん、キーステ、セントラル劇場、ブロードウェイ。ピンと来る人だつて少ないかもしれない。

梅雨時の小さな駅には寂しさと懐かしさが添えられて、ページをめくる小説の様に、雨音に打たれる竜鉄のホーム、タクシー乗り場、ワンマンバス。街の移ろいを横目に、自分自身

も歳を重ね、少しずつ変わっていく。第二回定例会が閉会し、議会だよりの筆をおろす季節となりました。

時代とともに街並みや暮らしが移り変わる中で、未来へ残していきたい風景や守るべき地域の宝があります。竜鉄もまた、その一つではないでしょうか。

車窓から見える景色が、この先も未来へ続くことを願い、本号を通して市政をより身近に感じていただけたら幸いです。あした天気になあれ。

後藤 光秀 記



次の議会

令和8年第3回定例会は

9月1日

開会予定です

広報委員会

委員長 石嶋 照幸
副委員長 伊藤 悦子
委員 山宮留美子
委員 岡部 賢士
委員 後藤 光秀
委員 油原 信義